

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/精神看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護学概論		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
森川 三郎	417	s.morikawa	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	今日の精神医療では疾患の治療と同時に回復(リカバリー)が目標とされ、看護の関わりは急性期の問題指向型モデルに加えて慢性期のストレスモデルの実践が求められている。また地域の状況に応じた多職種で構成されるチーム連携を基礎とした精神保健福祉サービスの構築が進められている。これらの全般について、精神看護学概論・援助論Ⅰ・援助論Ⅱ・臨床実習を通して学んでいく。本概論では主に教科書1章・2章・3章・7章・14章・16章に該当する範囲について学び、精神看護の対象者を理解し、精神看護とは何かを考えることを目的とする。そのために、我が国における精神医療の課題、法律の変遷、心のはたらきと人格、などを概観する。さらに医療の場のメンタルヘルスの概略を学びながら、「感情労働」という側面から看護の役割・機能・課題および対処についても学んでいく。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	本授業は、以下に示す教科書に可能な限り忠実に振り返りながら学んでいく。学生が予習してきた内容を教材として授業を展開することもあるので、必ず次回の学習箇所の予習を行ってこよう。				
教科書	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎/著:武井麻子/医学書院/2021 第6版 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開/著:武井麻子/医学書院/2021 第6版 [概論・援助論Ⅰ・援助論Ⅱ・実習と合わせて2冊指定]				
参考書	・リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレスモデル実践活用術/萱間真美/医学書院/2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神看護の対象および精神看護の役割・機能について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (3)		
②	こころの働きと人格について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
③	我が国における精神保健上の課題の背景、要因について考えをまとめることができる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
④	精神医療の歴史及び精神保健福祉法など精神看護の基本の法律について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
⑤	医療の場におけるメンタルヘルス及びリエゾン看護の概略について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
⑥	「感情労働」という側面から看護の役割・機能・課題および対処について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	テキスト第1章～精神看護学とは、精神障害を持つ人の病の体験と精神看護、「心のケア」と日本社会、精神看護の課題、について学ぶ。	講義	予習:教科書第1章を読んでおくこと。	4	
2	テキスト第2章～精神の健康とは、心身の健康に及ぼすストレスの影響、心的外傷と回復、精神障害という考え方、について学ぶ。	講義	予習:教科書第2章を読んでおくこと。	4	
3	テキスト第3章～心のはたらき(意識と認知機能・感情・学習と行動・知能・心の理論・心理的特性をはかる検査)について学ぶ。	講義	予習:教科書第3章P56～77を読んでおくこと。	4	
4	テキスト第3章～心の仕組みと人格と気質・意識と無意識・精神分析と精神力動理論・ライフサイクルとアイデンティティについて学ぶ。	講義	予習:教科書第3章P77～112を読んでおくこと。	4	
5	テキスト第7章～精神障害と治療の歴史・日本における精神医学精神医療の流れ・精神障害と文化・精神障害と社会学、について学ぶ	講義	予習:教科書第7章P298～P334を読んでおくこと。	4	
6	テキスト第7章～精神看護における法律、精神保健福祉法を中心とした精神科領域に必要な法律と制度、隔離・拘束・入院形態等について学ぶ。	講義	予習:教科書第7章P335～P369を読んでおくこと。	4	
7	テキスト第14章～医療の場におけるメンタルヘルスについて概観し、リエゾン精神看護の役割及び実際の活動について学ぶ。	講義	予習:教科書第14章を読んでおくこと。	4	
8	テキスト第16章～看護師における感情労働について概観し、看護師自らのメンタルヘルスについて学ぶ。	講義	予習:教科書第16章を読んでおくこと。	2	
試	筆記試験				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/精神看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	各回の講義の中で指摘した重要箇所について、知識として定着しているか否かを試験によって確認する。				試験終了後に、口頭もしくはメールによって模範解答及び試験結果のフィードバックと解説をおこなう。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経歴	精神科臨床看護師として20年間の経験を有する。						
実践的授業の内容	これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや臨床で経験したこと等を伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う						
そ の 他	授業時間中に生じた疑問・質問は当該授業の進行に係る場合はその段階で、それ以外は授業終了後か、リアクションペーパーによって行う。また全体に係る内容については次回の授業開始時に回答する。個別のものはメール等で回答する。						